

一般社団法人 日本医療機器学会
2025 年度第 4 回理事会 議事録

日 時：2026 年 3 月 31 日（火）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2 階 セミナーホール（東京都文京区本郷 3-39-15）

（会場+Web の併用開催）

出席者：深柄 和彦理事長、根本 裕司副理事長、

東 竜一郎、市橋 友子、植竹 茂、臼杵 尚志、江島 豊、加藤 伸彦、

久保田 英雄、斎藤 浩一、島田 正司、住谷 昌彦、高階 雅紀、中島 章夫、

中野 壮陸、長瀬 清、林 正晃、本田 宏志、松原 一郎、南 正人、美代 賢吾、

村中 亮太、根木 潤、安原 洋、

の各理事

新 秀直、青木 健雄、の各監事

欠席者：青木 郁香

事務局：岩田 誠、池野谷 崇臣、寺嶋 秀之、大石 綾子

1. 開会宣言および前回議事録の確認、議事録署名人の指名

- 1) 定足数と出席理事の確認：定款第 36 条により理事 25 名の内 24 名が出席、本理事会は有効に成立する旨の報告がなされた。
- 2) 2025 年第 3 回(2025 年 12 月 18 日開催)議事録の内容確認あり、出席者全員により確認された。
- 3) 本会の議事録署名人は定款第 37 条により理事長及び本日出席の新監事、青木監事である旨の報告があり、出席者全員異議なくこれを承認した。

2. 委員会報告

1) 総務委員会（根本委員長）

(1) 2025 年度事業報告と 2026 年度事業計画（案）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) 会員数の推移(入会者の承認・退会者の確認)

会員数の推移について報告があり、本日現在の会員数は名誉会員 9 名、功労会員 1 名、正会員 5,874 名、企業会員 280 社。前年同期比で正会員が 38 名減、企業会員が 2 社減少した旨の報告があり、出席者はこれを確認した。また、新規個別正会員 8 名の入会依頼があり、審議の結果、出席者全員入会について異議なくこれを承認した。

(3) 協賛・後援・共催依頼実績

資料に基づき、協賛依頼 2 件、後援依頼 5 件、共催依頼無しと報告され出席者はこれを承認した。

(4) 褒賞制度：2025 年度「功績賞」について

今年度の功績賞は推薦・申請共に無しの報告があり、出席者はこれを承認した。

(5) 名誉・功労会員候補について

資料に基づき、永年にわたり当学会活動及び運営に多大な功績をされた中田 精三氏を名誉会員候補(案)として推薦があり、審査の結果、出席者全員異議なくこれを承認した。

2) 国際委員会（美代委員長）

- (1) 同事業の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。
- (2) AAMI eXchange2026 について

昨年開催の第100回大会にAAMI幹部を招聘し構築できた関係性を踏まえ、現地でAAMI幹部との意見交換会やJSMI教育セッションの開催を検討している。また、数あるAAMIガイドラインの整理と日本語化に向けての手續、権利関係、費用等の検討を進めるとの報告がなされた。

【ISO/TC198 国内対策委員会】（高階委員長）

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

3) 医療機器 UDI 標準化委員会（酒井委員長代理、美代副委員長）

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

4) 利益相反委員会（安原委員長）

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

5) 学術委員会（安原委員長）

- ・同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。
- ・2026年度研究・開発助成制度募集結果と審査結果について

3件の応募があり、委員会で厳正に審査した結果、1件(対象者：藤井清孝氏他 テーマ：「医療機器不具合用語の国際統一コード変換エンジンの開発とオープンデータ化の研究」)が推薦され、議長より諮ったところ、出席者一同これを承認した。

褒賞制度：2025年度「技術賞・技術奨励賞」について

推薦・申請共に無し。

(1) 安全対策委員会（南委員長）

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) クリニカルエンジニアリング委員会（加藤委員長）

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

【臨床ME専門認定士合同認定委員会】（加藤委員長）

2025年度臨床ME専門認定士(新規・更新)認定の件

資料に基づき、2025年度の臨床ME専門認定士新規申請者34名、更新申請者130名の合計164名が承認され、出席者一同これを承認した。また、産休・育休等で実務期間が不足となっている4名については、今後内規を充実させ個別対応する旨報告がなされた。

(3) 機器と感染カンファレンス委員会（長瀬委員長）

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(4) 病院サプライ研究会（久保田委員長）

- (1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。
- (2) 委員会委員について

次回理事会での報告とした。

6) 編集委員会（住谷委員長）

- (1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。
- (2) 褒賞制度：2025年度「論文賞・著述賞」の選出の件

編集委員長より論文賞及び著述賞は選考の結果以下候補が推薦され、議長より諮ったところ異議なく承認された。

(論文賞) : 1件

著者 : 小幡 大輔 氏、清水 久恵 氏、早川 康之 氏、山下 政司 氏

表題 : 「磁性物質による管路閉鎖率の制御に関する基礎的検討と対外循環技術訓練への適用に向けての検討」

(著述賞) : 該当無し。

(3) 医療機器学投稿状況

資料に基づき、医療機器学投稿状況について報告がなされた。

7) 滅菌技士認定委員会 (高階委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) 医療現場における滅菌保証のガイドライン 2021 の改訂版について、現在その発行が 2026 年度中にずれ込む予定であり名称を 2025 から 2026 とすることを同委員会で検討し、出席者一同これを確認した。

(3) 滅菌技士奨学金報告の中で、奨学金の申請が無かった場合、同奨学金予算枠 (50 万円/年 x2 年間、計 100 万円) の中で、優れた研究課題に対して研究助成として予算を使わせて貰うことの方角性について審議依頼がなされた。本会として研究・開発助成制度があることから、議長より、本件については継続審議とし、次年度以降学術委員会を含めて審議することで確認された。

8) 広報委員会 (中島委員長)

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

9) MDIC 認定委員会 (白杵委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) MDIC 認定者名を学会ホームページに掲載する件については、4 月中に掲載予定との報告がなされた。

10) 事業体部会 (林部会長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) 第 101 回大会併設展示会準備状況について、現在、出展社 68 社・154 小間と報告がなされた。

(3) 2025 年度受託展示の実績は JDDW1 件となり、本年度 3 月末をもって受託展示の事業を終了することが報告され、出席者一同これを確認した。

11) 関係団体

(1) (一財)日本医科器械資料保存協会 (事務局)

特に無し

(2) 日本医学会 (深柄理事長)

・評議員 (担当 深柄理事)

・連絡委員 (担当 南理事)

・用語委員 (担当 住谷理事)

・用語代委員 (担当 谷口委員)

特に無し

(3) (公社)日本臨床検査標準協議会 理事 (矢富代議員代理、深柄理事長)

特に無し

(4) (公財)医療機器センター 理事 (深柄理事長)

特に無し

12) 財務委員会 (松原委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) 2025年度決算見込みについては、前年比で増収・増益を見込む旨報告がなされ、一同これを確認した。

(3) 2026年度予算案については、収入については前年予算比4百万円減少の215百万円、予備費として4.5百万円見込んでいる旨の報告がなされ出席者一同これを承認した。

13) 倫理委員会 (山浦委員長代理、島田副委員長)

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

14) 滅菌管理業務検討委員会 (久保田委員長)

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

15) 医療機器学(仮称)出版準備WG (水谷委員長代理、中島委員)

同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

16) 産学連携推進委員会 (江島委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) 同委員会として人材交流を含めた企業訪問の試験的实施を考えており、候補として

GE HealthCare 日野本社工場見学の案内があり、今後参加者を事務局経由で確認するとした。

17) 災害対策委員会 (長瀬委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) 同委員会の新メンバーについて、川島寛之氏(新潟大学)、山下裕玄氏(自治医科大学)の2名を今後委員会メンバーとして参加させたい旨の報告があり、出席者一同これを承認した。

18) 将来構想委員会 (深柄委員長)

(1) 同委員会の事業報告と事業計画(案)が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

(2) 同委員会より資料に基づき JSMI 将来ビジョンについて、学会のホームページ上で会員マイページではなく広く浅く一般公開を念頭に今後開示を進める方向で出席者一同確認した。

3. 第101回大会及び今後の大会開催予定

1) 第101回大会(2026年6月4日~6日:幕張メッセ) (本田大会長・事務局)

(1) プログラム準備状況等 (本田大会長)

大会長より大会準備状況について報告があり、伝統と革新を織り交ぜた企画について触れ、改めて理事への協力を促した。

(2) 大会収支予算 (事務局)

事務局より、収入については学術集会参加人数を2,700名、ランチョンセミナーは8社をベースに予算(案)とし、また支出については、前回の理事会での報告から微増を見込み、学術・展示合わせて全体として13百万円の黒字を見込んでいる旨の報告がなされ、出席

者一同これを承認した。

2) 第 102 回大会(2027 年 6 月 24 日～6 月 26 日：パシフィコ横浜) (中島大会長)
次回大会長より、第 101 回テーマを踏まえ第 102 回大会では医療機器学の進化、真価、深化をメインテーマとする方向での検討を進めている旨の報告がなされた。

3) 第 103 回大会

(1) 大会長選出の件

第 103 回大会の大会長については、議長より江島理事が推薦され、江島理事からは前向きに捉えたいとの意思表示と共に、結果については後日報告する旨発言があり、出席者一同これを承認した(後日、承諾する旨報告あり)。

(2) 会場候補地状況(事務局)

事務局より第 103 回大会開催候補地について、横浜もしくは仙台の 2 か所を候補地としている旨の報告がなされた。

4. 閉会宣言(理事長)

その他の議題や質疑応答等がないことを確認し、議長が 17 時 20 分閉会宣言をした。

以上

(議事録署名)

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事 2 名がこれに署名する。

2026 年 3 月 31 日

議事録署名人

(深柄 和彦理事長)

議事録署名人

(新 秀直監事)

議事録署名人

(青木 健雄監事)